



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

第1024回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 四つのテスト・たき火
- ソングリーダー 鈴木 健夫君

■ 会長報告 村松 章隆君

皆さん、こんにちは！残念な悲しいお知らせからの開会となりました。去る1月16日大先輩の鈴木吉郎さんが享年84歳で永眠されました。私にとっては、志太中学のサッカー部の大先輩でもあり。息子さんも、私の弟も藤枝東高校のサッカー部の同級生で、家族ぐるみのお付き合いをしていました。ここに、ご冥福を心よりお祈りしたいと思います。

さて、去る1月12日、13日と藤枝南ロータリークラブ争奪U-10大会の開会式及び閉会式に出席をさせていただきました。本年、第10回目を迎える記念の大会となりました。私は、久しぶりに少年サッカーを見させていただきましたが、5年前より8人制になっており、その理由は、ボールタッチ数も多くなり、たくさんの選手の出場機会が増えて、レベル向上に繋がるルールになっているとのことでした。

内容は、新年にふさわしいハツラツした、スピード感のある白熱したいい試合をしていただき大変良い大会で感動を覚えました。藤枝市サッカー協会の役員はじめ、少年委員会の方、各チームの指導者、ご父兄の皆様の協力により継続している大会であることを改めて感じ、心より敬意を表したいと思います。

本日は、第5分区の来る3月3日のインターシティーミーティングのご案内として、ホストクラブの焼津南ロータリークラブのIM実行委員長の小林さん、副実行委員長の齊藤さんがお見えになっておりますので、後ほど、ご案内をお願いします。

そして、うれしいお知らせです。本日は、新し

い仲間として、杉浦君の入会式があります。

幹事報告 内山 淑夫君

- ・第2620地区より
20132 - 2014年度RI会長テーマが届いております。
- ・第2620地区より
分区内クラブ活動報告が届いております。
「浜松東RC 竜頭山標柱再建」
「清水北RC 久能山東照宮案内里程標塔移設記念式典」
「塩山RC 柳沢峠・ツツジ苗木周り雑草除去作業」
「浜松東 RC 楽器博物館コレクションシリーズCD大賞受賞」
- ・ザ・ロータリアン誌1月号が届いております。
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま154号が届いております
- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より
バギオだより第34号が届いております

出席報告 望月 誠君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
36 / 44 81.81%	39 / 44 88.63%

- (1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）
鈴木徹君 殿村君 渡邊博君 江崎君
川口君 竹田君 中山君 早川君
- (2)メイクアップ者
渡邊 博文君（静岡日本平）

スマイルBOX

望月 誠君

- 2012 - 2013年度 IM 開催（3月3日）の宣伝にきました。詳細は小林実行委員長より説明いたします。全会員の登録をお願いいたします。

焼津南 RC IM 副実行委員長 齊藤 東洋君

- 夫人誕生祝い、ありがとうございました。
富澤 静雄君
- クリスマス夜間例会では娘（彩乃）が大変お世話になりました。有りがとうございました。
渡邊 芳隆君

スマイル累計額 368,732

ビジター

小林義 信君

（焼津南）

斎藤 東洋君

（焼津南）

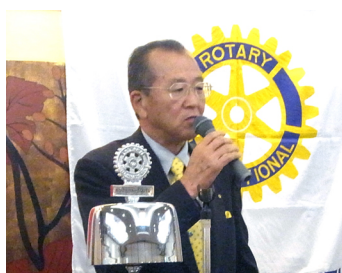


松葉 隆夫君
（藤枝）

IMのご案内

焼津南 RC

小林 義信君



開催日 平成25年3月3日（日）
受付 13時より 開会点鐘14時
記念講演 「巨大地震に立ち向かう減災社会を築く」静岡県危機管理監兼危機管理部長
小川 英雄

懇親会 16時10分より

会場 焼津グランドホテル

入会式

本日杉浦君が入会
されました。



名前 杉浦 聡君

勤務先 （株）杉浦純商店

住所 藤枝市志太5丁目3-27

役職 代表取締役社長

会員卓話

伊藤 彰彦君



今回の卓話については、村松会長が長期に休んでいた私の為に、出席しやすいように高杉さんと配慮していただいたものと思いありがたくお受けしました。

当初の話では、テーマは何でもいいよとのことでしたが、クラブ計画書のタイトルを見たら、我が人生「泣いて笑って」となっていました。まだ自分の人生を振り返って何かを思うというほどの歳ではないと抵抗を感じながら、昨年大変伴野前会長はじめクラブの皆様にもご迷惑をおかけしました事故についてお話をさせていただきます。

ちょうど、東北の震災から一年後の平成24年3月11日のことです。前日は雨が降り当日もなんとなくどんよりと曇った日でしたが、昨年は一、二月とも寒い日が続く、例年より竹の子の出が遅いと言われていました。さすがに三月にもなれば少しは出ていると思い、妻と一緒に山へ竹の子の様子を見にいきました。既に誰か無断でうちの山に入り竹の子を掘った跡がありました。妻と、きょうは様子見だけで、山もぬかっているから早めに帰ろうと言っていたのですが、他人に入られたのが癪に障って、何本か意地で掘っていました。上り坂の傾斜で掘っていた際、自分では足を滑らせたという実感もないままに鍬を振り上げ

た瞬間に頭から転がり落ちていきました。3メートルほど転落したところにちょうど三本の竹が生えており、竹の子が生えており、竹の間に首を突っ込む形で止まりました。

ところが、手や足を動かさそうと思ったところ、まったく動かず、さらには頭より血が流れ落ちてき、呼吸もしにくくなってきました。

私の転がり落ちる音を聞いて、妻が駆けつけてくれ、救急車を呼んでくれました。山から運び出される際の私の姿は、皆さんもご存知歌舞伎の市川染五郎が舞台から奈落へ落ちて運ばれていった首にはコルセットをはめ、口には酸素マスクをしたのと同じ状況でした。とにかく、上半身は鋭い刃物でつかれているような痛みの中、救急車で市立病院へ運ばれました。

検査結果が夕方に告げられ、脊椎損傷のため緊急にステロイド剤を血糖値が上がるまで一気に注入するということと、ICUにて状況を見ていくとのことでした。一晩すると、足が動き息苦しさもなくなりましたが、上半身の痛みは口では表現できない痛みで、更に全く両手が動かなく不安な状況が続きました。

四日目にICUから、一般病棟に移って、気分的には少し気が楽になりましたが、一方で一番困ったことが、両手が動かないため、ナースコールが押せないということでした。また、顔がかゆかったり、鼻をかみたくてもそれも我慢しなければならなかったことです。食事は介護用の流動食をベッドを180度寝かせたままの状態で流し込まれていました。

入院から10日目に主治医から手術もしないのでこのままりハビリを始め、様子によってはリハビリ専門病院へ移ってどの程度回復するか様子を見るしかないと告げられ、ショックでした。指の一本も動かすことが出来ない状況でしたので、仕事への復帰はあきらめざるを得ないと思えました。

竹の子の為にこんな体になってしまったことを悔やみました。ところが、入院時より妻が平成記念病院に脊椎の治療では有名な先生がいるということでその先生あてにメールを送ってくれ、私の状況を説明しながら何とか仕事に復帰させてほしいと懇願していたようでした。ちょうど主治医からの説明があった翌日に妻の携帯に電話が入り、花北先生が様子を聞いて見ましようと言

ってきてくれたのです。翌日妻が先生と会い、その翌日には転院するように手配してくれたのでした。この間、私は全く転院の話も知らされておらず、突然転院すると言われたときは唖然としましたが、これはもしかしたら良い方向に行くのではないかと転院にかけてみることにしました。

転院翌日より早速リハビリが始まりました。しかし、指が全く動かない中で指をもみほぐしてもらうのが精いっぱいのリハビリからの開始でした。この頃はまだ、食事は老人用の食事でしたが、ベッドの角度も60度まで許され、流動食から固形の食事に変わっていました。

しかし、スプーン一つ持てませんでしたから、全部看護師に食べさせてもらうしかありませんでした。これが一番辛く感じました。

しかし、日に日に指が動きだしました。確か、転院から2週間目には、スプーンで自分の口に食事を運べるまで回復してきたのです。更に翌週にはなんとか箸を使えるようになり、歩行の方もなんとか歩行器を使うことなく一人で歩けるようになり、先生方も急な回復に驚いていました。

4月の中旬に、花北先生より「転院させたが医者としての治療はまだ何もせず、リハビリだけでここまで回復してきたが、今後のこととして、手足にしびれが強く残っているので、少しでもしびれを改善できるかもしれないので脊柱管の拡張手術を受けてみないか」と勧められ、思い切って4月26日に手術も受けました。正直脊椎の手術ですから失敗すればせっかく動くようになってきた足も手も動かなくなるリスクもあるので怖かったです。

手術は無事終わりましたが、その頃より両肩が痛くなってきました。50肩と同じような症状が出てきました。この痛みはいまだに残っています。

また、リハビリ中は単に頑張りすぎて筋肉痛になったと思われていた両腕の痛みが自律神経の損傷からくる痛みだと告げられ、これも今現在も続いています。

取りあえず、5月13日には退院しましたが、神経の痛みとの闘いで、9月頃までは、仕事に出ても半日しかもたず、午後にはリハビリか自宅のベッドで寝ている毎日でした。痛みがこれだけ続くと精神的にも不安定になり、悲観することもままありました。これはいまだにあります。でも、最

初のことを思えば、寝たきりにならず、希望通り仕事に復帰することができ、最初のころどんなに回復しても車の運転は無理だろうといわれていた状況から考えれば夢のようだと自分に言って聞かせています。

ただ、残った障害を受容するところまでの心の整理がつきません。出来ない動作に苛立つ気持ちを抑えて、少しでも回復できるようにまだ、頑張っていきたいと思います。

正直ここまでの話をするのもかなり躊躇していました。自分としては元の体に戻りたいという強い願望が残っています。今ある若干の指の動きに制限があったり、腕や足に筋肉の硬直の症状が残ったり、疼痛が肩にあります。少しずつ今ある自分を受容しようと思えるようになりつつあります。

まだ、時間はかかると思いますが、リハビリをまじめに続けて、回復を目指しますので、クラブ活動につきましてはまだしばらくは、大目に見てください。よろしくお願いいたします。

今週の一言 高杉 光洋君



親父から受けた言葉

《君に忠 親に孝》

くにちゅう、おやにこう、みずからをせつすることきびしく、かいのものにじんじをもってし、てきにはあわれみをかけ、しよくをいみ、こうせいをたつとび、ふうきよりもめいよをもってたつととなす

主君に忠誠を誓い、親を大事にして、自分には厳しく、下の者には思いやりを持ち、敵には憐みをかけ、私利私欲に走らず、正義を重んじ、富より名誉を重んじる

ロータリークラブにそのまま当てはまるような・・・

「武士道」・・・感銘を受けます。

これこそ、男が男として生きた時代の真のプライドですね

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/25 (金) 第 1025 回	会員卓話	渡邊博文君
2/1(金) 第 1026 回	会員卓話	玉木末雄君
2/8 (金) 第 1027 回	外部卓話	池谷和正君 担当
2/15 (金) 第 1028 回	会員卓話	若林秀典君
2/22 (金) 第 1029 回	会員卓話	竹田敏和君

(担当/池ヶ谷君)